

あるまち「上三川」の実現に

平成25年度当初予算が3月議会にて可決されました。

一般会計予算は101億9,600万円となり、前年度と比較して2億900万円(2.1%)の増となりました。

また、一般会計、特別・企業会計を合わせた予算総額は、前年度に対し1.7%(2億8,960万円)増となっています。

25年度予算

平成25年度は「上三川町第6次総合計画後期基本計画」の3年目にあたります。

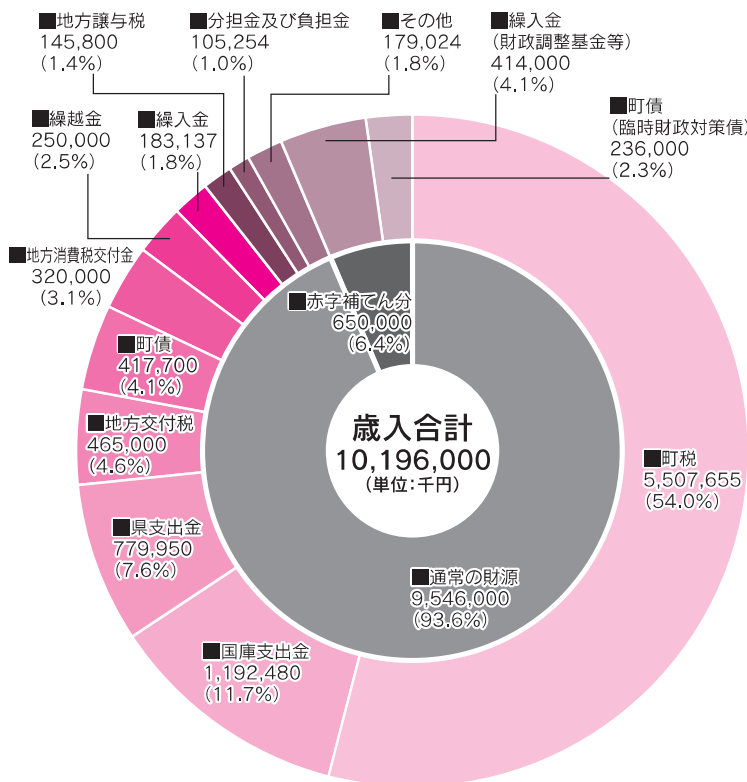
計画に盛り込まれた諸施策について、財源の動向を見極めつつ、着実に推進します。

歳入

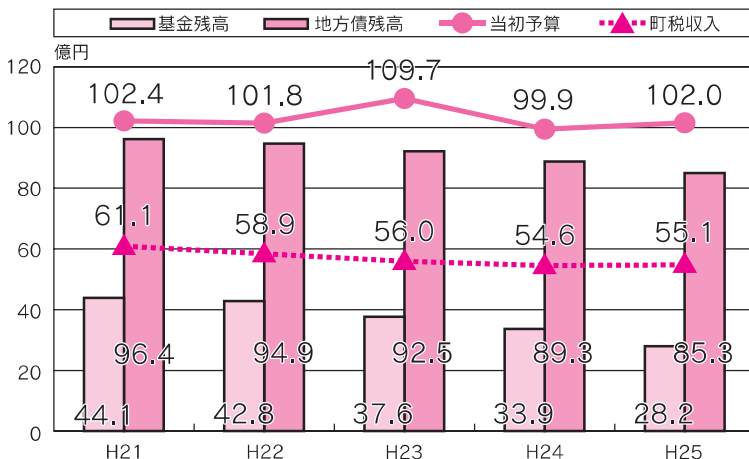
自主財源の根幹をなす町税は、企業の業績回復傾向による法人町民税の増収等を見込み、前年度予算と比較して4,445万1千円(0.8%)とわずかながら増額となりました。

しかし、今後も町税の大幅な増収は見込めないため、25年度の財源の不足分は、財政調整基金(2億円)や町債管理基金(2億1,400万円)の取り崩しと、臨時財政対策債(2億3,600万円)の導入により補てんします。

また、22年度より地方交付税(普通交付税)の交付団体となっており、25年度も同様となる見込みのため、4億6,500万円を計上しています。



直近5年の財政推移(一般会計)



会計別予算額

	H25度当初予算	前年比
一般会計	101億9,600万円	2.1%
特別会計	63億6,800万円	1.4%
国民健康保険事業	31億2,200万円	4.2%
介護保険事業	16億8,000万円	4.2%
後期高齢者医療	1億9,900万円	▲1.5%
公共下水道事業	10億9,900万円	▲9.8%
農業集落排水事業	2億6,800万円	6.3%
企業会計(水道事業)	7億6,531万円	▲1.1%
総合計	173億2,931万円	1.7%

※各特別会計は、特定の事業を行うための会計で一般会計とは区別し、個別に経理しています。
※水道事業会計は、上水道管理運営のための会計で独立採算制をとっています。

「より安心・安全で活力の

一般会計当初予算 101億9,600万円 (前年度比2.1%の増)

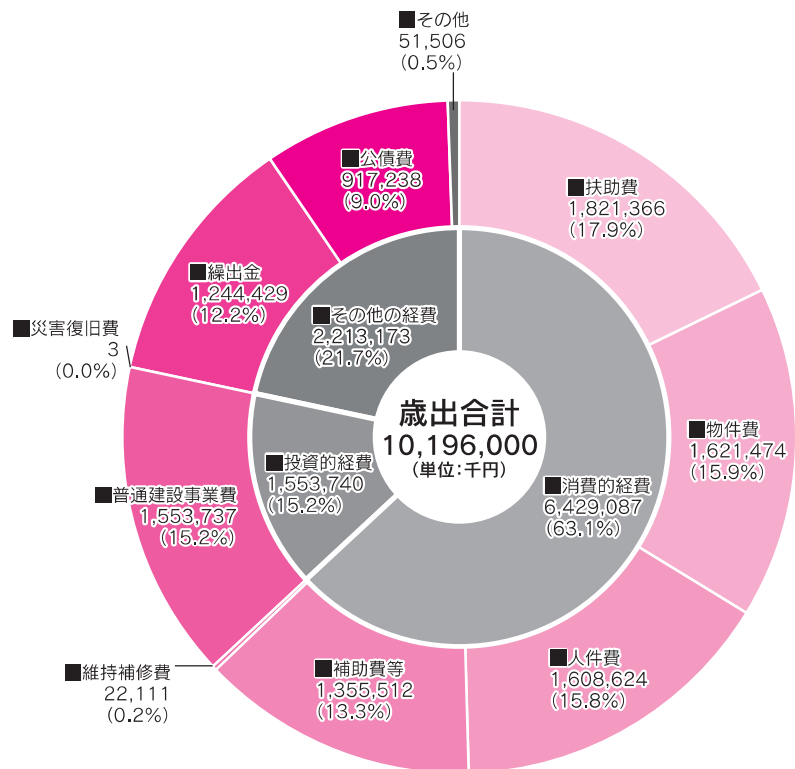
歳出

高齢化の進展による社会保障関係経費や少子化対策・障がい福祉対策により、**扶助費**は前年度比**1億5,431万円(9.3%)の増**となっています。

平成21年度より順次、小中学校の耐震・大規模改修事業を行っておりますが、25年度から北小・本北小・明小の工事が着工されること等により、**普通建設事業費**は前年度比**1億9,846万円(14.6%)の増**となりました。

25年度主な事業

- ・ 放課後児童健全育成事業 2,925万円
- ・ 医療費助成事業 1億3,963万円
- ・ 障がい者自立支援給付事業 3億4,956万円
- ・ 小学校大規模改修事業(6校) 3億3,133万円
- ・ 中学校大規模改修事業(1校) 2億2,853万円
- ・ デマンド交通運行事業 1,848万円
- ・ 消費生活センター運営事業 225万円



用語解説

- 【自主財源】町税や繰入金など町で集めることのできるお金。
- 【地方交付税】全国の市町村が一定の水準を維持できるように、国から交付されるお金。
- 【町債】町が事業を行うために長期間、国や県・金融機関等から借り入れるお金。
- 【繰入金】一般会計、特別会計、基金の間でやりとりするお金。
- 【財政調整基金】財源に余裕がある年に積み立て、不足する年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための貯金。
- 【町債管理基金】町債の返済を計画的に行うための貯金。
- 【臨時財政対策債】国の財源不足から、交付される地方交付税が足りない時に、借り入れて不足分を補う町債の一種。
- 【扶助費】社会保障制度の一環として、生活困窮者・高齢者・児童・心身障がい者等に対して行う支援に要する経費。
- 【普通建設事業費】道路・学校・公園等社会資本の新增設事業に必要な経費。
- 【消費的経費】支出効果が単年度又は短期間に終わるもの。後年度に形を残さない経費。
- 【投資的経費】施設の建設など将来に残るものに支出する経費。